



園だより

令和8年11月号
杉並区立堀ノ内子供園
園長 大塚 玲華

「行事と遊びのつながり」

園長 大塚 玲華

10月の運動会では、ご参観とたくさんの応援をありがとうございました。

堀ノ内子供園の子どもたちは、4月から毎日鬼遊び、踊り、巧技台のアスレチック、かけっこなど、様々な運動遊びを楽しんでいます。4月から子どもたちが楽しみながら経験し、育ってきた体の動きを当日の運動会でご覧いただけたのではないかと思います。

また運動的な面だけではなく、身に着ける衣装の製作、イメージ(扉の向こうに探検する世界)を楽しみながら行うリズムや競技、自分たちで考える踊りの表現などの内容や子どもたちの育ちも、当日の姿から感じていただけたのではないかと思います。製作、踊りでの伸び伸びとした表現、イメージを膨らませて楽しむ姿も、4月から子どもたちが遊びの中で繰り返し楽しんできた経験や育ちからつながっています。

運動会などの「行事」というと、当日に向けて計画的に、取り組む日にちや時間を決めて「練習」を行なっていく、ということをイメージする方もいるかもしれません。子供園では、今回の運動会のように、子どもたちが日々の遊びや生活の中で楽しみ、経験してきたことが自然の流れの中で行事につながるようにしています。そして、子どもたちが無理なく、ワクワクして自分から「やりたい!」と意欲的に参加し、「楽しい」「やった!」と感ずることも大切にしています。

運動会が終わってからも、子どもたちは「楽しかった」「やった!」という気持ちから、まだまだ「運動会」を行っています。「行事が終わったからもうしない」ではありません。

自分たちが運動会で楽しんだことを何回でも、また他学年が行っていたリレーや踊り、玉投など、自分たちの遊びの中に取り入れ、やってみる姿があらこちらで見ら

れています。

友達と集って遊ぶ姿や、年長組では考えや力を合わせながら遊ぶようになる姿もより多く見られるようになってきました。

運動会で「楽しかった」「やった!」という経験を経て、子どもたちは、より様々な遊びをするようになり、またその中で遊び方や友達との関わり方に変化が見られました。

このように、子供園の子どもたちの「行事」はそれだけが独立しているのではなく、前後の日々の遊びや生活とつながっているものとわかります。毎日の遊びや生活の中で子どもたちが楽しみ、経験してきたことが行事の一部となり、行事という、いつもとは少し異なる体験を経て、毎日の遊びや生活がより豊かに、意欲的になっていきます。

私たち保育者は、日々の遊びや生活から行事へ、そして行事から豊かな日々の遊びや生活へ、というつながりを大切に、それぞれの経験が子どもたちの育ちにつながるように意識しながら保育を行っています。

この先も、堀ノ内劇場や、堀ノ内コンサートなど、様々な行事があります。これらも運動会同様、日々の遊びや生活の中で経験したことや育ったことが、それぞれの行事につながるように、そして行事を経て遊びや子どもたちの育ちがより豊かになるよう、教育・保育を進めてまいります。

日々の遊びとともに、行事に向けても、学年だよりや保育の様子などで子どもたちが経験していることや育ちなどをお知らせしますので、日々の遊びや生活と行事がつながっていること、その中で子どもたちの経験や成長を感じていただけたら嬉しいです。

・今月の指導・

うさぎ組

運動会が楽しかった気持ちや異年齢への憧れの気持ちから、運動会後も探検のイメージで遊んだり、リレーごっこをしたりして遊ぶことを楽しんでいます。また、その他の遊びでは、前日やこれまでにした遊びからやりたいことを見付け、「今日もやりたい」と何回も楽しむ姿が見られるようになってきました。他の幼児の姿を見て、「自分もやってみたい」「同じものを作りたい」と思いをもって遊んだり、遊びの場や興味を通して、他の幼児と関わって遊んだりすることも楽しくなっています。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- やりたいという思いをもって自分から遊んだり、繰り返し遊んだりすることを楽しむ。
- 自分の思いを出しながら、同じ場にいる幼児や保育者と関わって遊ぶことを楽しむ。
- 冬に向けて新しく必要になった身の回りのことを自分でやろうとする。

今月から保育時間が長くなります。生活のリズムが少し変わるため、疲れが出やすかったり、園で頑張っている分ご家庭で甘えたりする姿があるかもしれません。一人ひとりの様子や疲れの様子も見ながら、幼児にとって負担のない生活の流れにしていきます。ご家庭でも、お子さんの気持ちを受け止め、ゆったりと過ごしてください。様子の変化や気になる姿があれば、お知らせください。

ぱんだ組

運動会を通して、魔法からイメージを膨らませて作ったりなりきったりして遊ぶことや、友達を感じながら思い切り体を動かすことを楽しんできました。遊びの中で「こんなことをしたい」という具体的なイメージが出てきて、必要なものを作ったり、思いついたことを友達に伝えようとしていたりする姿も出てきました。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 遊びに必要なものを作ったり、使ったりすることを楽しむ。
- 気の合う友達と一緒に遊ぶ中で伸び伸びと自分の思いを言葉や動きにして楽しむ。

みんなで行く遠足の共通体験も遊びの引き出しの一つにしながら、生き物やなりきるためのものをいろいろな素材を使って作ってみたり、やってみたいことや思いついたことを気の合う友達に伝えてみようとしていたりすることを大切にしていきます。イメージを形にできるような作り方を保育者と幼児と一緒に考えたり、友達同士の伝え合いの中で必要な言葉を補って橋渡しをしたりして援助していきます。

遊びや友達との関わり、ご家庭での様子など、成長した姿や気にかけてほしい姿について、お気軽にお声がけください。

きりん組

運動会を経て、友達とのつながりが深まってきています。自分の思ったことや考えを友達に伝えたり、相手の思いを聞いて受け止めたりしながら相談して、友達と一緒に遊びを進めようとする姿が見られています。

今月は次のことを重点的に指導していきます。

- 友達と考えを出し合ったりイメージを共有したりして、共通の目的に向かって遊びを進めていこうとする。
- 自分なりのめあてをもって活動に取り組み、挑戦したり工夫したりすることを楽しむ。

10月末に行く遠足など共通で体験したことも取り入れながら、イメージやめあてを共有しながら遊ぶことを楽しめるようにしていきます。友達同士で話し合って進めようとする姿を見守りつつ、困ったときには保育者も一人の仲間として関わっていきます。また、コマや製作など一人ひとりが自分のめあてをもち、挑戦したり工夫したりすることを楽しめるようにしていきます。少し難しいことに友達や保育者と一緒に挑戦する中で、繰り返し取り組む面白さを感じたり、自信をもてるようにしたりします。

